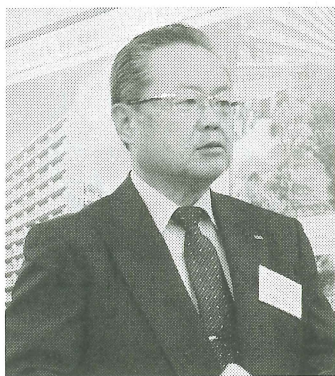




「ルピアグランデ柏 ココロリゾート」について説明する中央住宅の金児正治マインドスクエア事業部取締役事業部長

3カ月で100戸契約 好調な販売状況

マンション街区と戸建て街区の複合レジデンス

ポラスグループ 中央住宅 柏市で196戸分譲マンション

ポラスグループの中央住宅マインドスクエア事業部が手掛けるマンションの今期の販売状況は、コロナ禍にありながら昨年より業績が上回っている。

現在販売を行っている千葉県柏市で手掛ける総戸数196戸のマンション「ルピアグランデ柏 ココロリゾート」

ト」も、7月6日の発売開始より3カ月で100戸が販売済みとなるなど周辺の物件と比べて遥かに早い販売状況になっている。

.....

常磐線沿線のマージットでの販売状況は、通常概ね月に10戸の契約であるが、「ルピアグランデ柏 ココロリゾート」は月に約30戸の契約となっている。

同物件は柏市の公務員住宅跡地に建設された。同社としては初めてのマンション街区と、戸建て街区（全19邸、2019年12月販売開始、全戸販売済み、

価格3490万円〜4590万円）との複合レジデンスである。

中央住宅マインドスクエア事業部は、戸建分譲住宅と同時にマンションの分譲も手掛けている。タテ割りではなく、2つの事業の用地取得を同時に手掛けることができることから、用地の取得を有利に進めることが可能になる。

マンション「ルピアグランデ柏 ココロリゾート」の販売が好調となっている要因の一つとしてあげられるのは、マンション街区と戸建て街区との複合レ

ジリエンスであることである。

全19邸の戸建住宅が販売済みとなり既に入居していることが、マンションの購入計画を後押ししたといえる。

中央住宅マインドスクエア事業部の金児正治取締役事業部長は「ルピアグランデ柏 ココロリゾート」の説明会で次のように語った。

「土地を有効活用するという意味で、マンションと二戸建て開発を進めることができただ。これが今回の企画の大前提としてスタートしている」ことを語るとともに、今後、マンションと二戸建てとの複合、マンションと

商業施設との複合、大手デベロッパーとのジョイントなどの準備もできているという。

マンションの室内では、同社マンションシリーズで人気の高いオリジナルのピアノキッチンや充実した収納スペース、暮らしやすいプランニングなどが評価されている。

物件概要

所在地 千葉県柏市富里3丁目、交通 JR常磐線・東武アーバンパークライン「柏」駅徒歩15分、敷地面積 8142.75㎡、建築面積 2572.05㎡、専有面積 70.06㎡、86.79㎡、総戸数 196戸、価格 2498万円〜4698万円、竣工予定 21年8月中旬、入居 21年9月中旬。



「ルピアグランデ柏 ココロリゾート」完成予想パース